

**製品名: CD129 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81978**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	57.1kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD129
別名	IL9R; IL-9R
遺伝子 ID	3581.0
SwissProt ID	Q01113
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD129 (AA: 余分な 41-270) の精製された組み換え断片。

**背景**

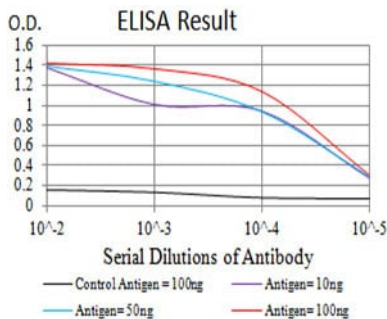
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 9 (IL9) の生物学的効果の特異的に媒介するサイトカイン受容体です。機能的な IL9 受容体複合体は、このタンパク質に加えて、多くの異なるサイトカインの受容体に共通する  $\gamma$  サブユニットである

インターロイキン 2 受容体  $\gamma$  (IL2RG) を必要とします。この受容体へのリガンド結合は、様々な JAK キナーゼおよび STAT タンパク質の活性化を導き、それらが様々な生物学的反応を引き起こします。この遺伝子は、X 染色体および Y 染色体の擬似常染色体領域に位置しています。遺伝学的研究では、この遺伝子と喘息の発症との関連が示唆されています。9 番染色体、10 番染色体、16 番染色体、および 18 番染色体上に複数の擬似遺伝子が同定されています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが見つかっています。

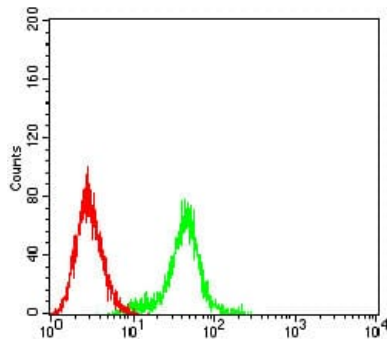
## 研究分野

TGF- $\beta$  シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD129 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Ramos 細胞のフローサイトメトリー分析。